

学校運営協議会議事録

校名	府立吹田高等学校
校長名	手島 肇

開催日時	令和3年3月25日(木) (書面開催による意見等聴取期日)
開催場所	書面開催にて、郵送またはメールにて意見書回収。その後、学校から個別に回答
出席者(委員)	横山強会長、林弘昭副会長、前田武男委員、土井実委員、由上正幸委員 室田園子委員
出席者(学校)	手島肇校長、藤井秀雄教頭、湯木貞博事務長、磯原健志首席、小澤靖典首席
傍聴者	—
協議資料	令和2年度学校経営計画及び学校評価、令和3年度学校経営計画及び学校評価(案)、令和2年度学校教育自己診断集計結果分析・対応
備考	上記資料に加えて、「回答書」を同封して、ご意見等を回収した

議題等(次第順)	<p>○令和2年度学校経営計画及び学校評価について</p> <p>○令和3年度学校経営計画及び学校評価(案)について</p> <p>○令和2年度学校教育自己診断集計結果・対応について</p>
協議内容・承認事項等(意見の概要)	<p>○令和2年度学校経営計画及び学校評価について 内容について全委員が承認した。</p> <p>○令和3年度学校経営計画及び学校評価(案)について 全体の方向性等について全委員が承認した。</p> <p>○令和2年度学校経営計画及び学校評価、令和3年度学校経営計画及び学校評価(案)並びに令和2年度学校教育自己診断集計結果・対応について、ご意見をいただき、それを受けて各委員と個別に電話にて次のような協議をした。</p> <p><行事・クラブ活動について></p> <ul style="list-style-type: none"> ・部活動の活性化に取り組んでいるが、教職員の肯定率が50～60%で推移していることはある意味仕方ないことかもしれない。それは、放課後講習、土日の付き添いなど教職員の働き方改革にも絡む多くの問題があるからだと思う。根本は、生徒と先生の部活動の関わり方をどうするかだと思う。 ・行事が学校全体で組織的に取り組めていないという否定的な回答が4割程度いることが気になる。コロナ禍で、行事が大きく変更されたようだが、こまめに情報共有をして、生徒のために、組織的に動いて欲しい。 ・クラブに参加している生徒の満足度調査の数値が高いことは良いことだが、何が満足につながり、何が満足につながっていないのかを丁寧に分析していただきたい。 <p><保健・校内美化について></p> <ul style="list-style-type: none"> ・清掃が徹底されているかという質問に対する肯定率が、過去に比べれば上昇しているが、決して高いとは言えない。施設の老朽化のことも影響しているのかもしれませんが、日々の生活の場であるので、引き続き全教職員で取り組んでいただきたい。 <p><生徒指導について></p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々な原因による遅刻があるので、一定数より下がらないことは仕方がないことでしょう。これまでの取組みを継承して、生徒の時間に対する自己管理能力を養ってください。 <p><進路指導について></p> <ul style="list-style-type: none"> ・進学クラスを2年生からスタートさせるなど、生徒のニーズに合うよう、マイナーチェンジを図りながら進めていることはとても評価できる。 ・学校斡旋就職希望者の就職率100%を続けていることも素晴らしいことで、それを上手にアピールして生徒募集につなげていただきたい。 <p><防災教育について></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地震などの災害に備えることはとても大切なことである。毎年、生徒は入れ替わるので、避難訓練をしっかりと行い、万一に備えていただきたい。また、学校が「一次避難場所」に指定されていることや、学校に生徒用の備蓄食料があることを生徒にも周知して欲しい。 <p><教育相談について></p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題を抱える生徒の早期発見と対応に取り組んでいるところだが、コロナ禍でこどもの自殺が過去最多になっている。適切な対応をするために、「ゲートキーパー」の活用や「SOSの出し方に関する教育」の実践について検討して欲しい。 <p><地域との連携について></p> <ul style="list-style-type: none"> ・校外エリアの清掃をする「クリーンキャンペーン」を毎年しており、今年度は密を避けるために、各クラブ毎に行ったようだが、人数が少なく目立たなかった。校外であるので、全校的に取り組まれた方が良いのではないかと。